

vol.
698

The
Record

2018 january

1

- | 新年のご挨拶
- | 「第 24 回 日本プロ音楽録音賞授賞式」開催



Contents

新年のご挨拶.....	2
Monthly News Digest.....	3
特報	
「第24回 日本プロ音楽録音賞授賞式」開催.....	5
MINC「Music Forest（音楽の森）」.....	7
私の一枚 season 2	8
Monthly Production Report	9
GOLD DISC	10

I n e
e c o



このエルマークは、レコード会社・
映像製作会社が提供するコンテンツを
示す一般社団法人 日本レコード協会の
登録商標です

新年のご挨拶



新たな音楽ムーブメントの創出を目指して

一般社団法人日本レコード協会
会長 重村博文

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年6月の会長就任後、初めての新年を迎え、あらためて身の引き締まる思いです。

さて、IT革命と言われてから十数年、その進化のスピードはめざましく、我々レコード産業においてもプラス面マイナス面とも多くの変化をもたらしております。

世界の音楽市場はデジタルの躍進の結果、2015年に下げ止まりV字回復の兆しが出ています。日本においても堅調なダウンロード販売に加え、定額制音楽配信サービスが大きく伸長し、2017年の音楽配信売り上げは4年連続のプラス成長が見込まれます。また、CD等パッケージの生産実績は微減で推移しているものの、世界一のパッケージ大国の座は揺るぎません。

一方で、IT革命は業界に違法音楽配信問題という大きな課題ももたらしました。

日本レコード協会では、開設6年目を迎える違法対策の専任組織「著作権保護・促進センター」(CPPC)で動画サイトやストレージサイト等の違法音楽ファイルの探索と削除要請を日々実施し、大きな効果を上げております。このような取り組みはたちごっこの側面もありますが、根気よく継続することが極めて重要と考えております。

音楽の楽しみ方は時代と共に変容し、テクノロジーとして対極にあるAIスピーカーとアナログレコードが世間の耳目を集める等、ユーザーの選択肢は増えております。

この状況を好機に、音楽産業の原点である「ヒット曲」「時代を担うスター」の創出に向けて2018年も事業を推進してまいります。

これまで3年間実施してきた新人アーティストのショウケースライブイベント「Coming Next」は、より多くのユーザーにそして年間を通して訴求できるWeb展開に発展させ、昨年7月音楽ナタリー上に「Coming Next Artists」を開設いたしました。

CDショップでのコーナー展開やサブスクリプションサービスでのプレイリストの公開など、多くの皆様のご協力を得て多角的な展開も図れており、おかげさまで多くのユーザーに好評をいただいております。本年も公開コンテンツの拡充等、Webならではの展開で話題性を高めてまいりますので、どうぞご期待ください。

更に今秋には、新たな音楽ムーブメントの創出に繋がる施策も計画しております。詳細は現在検討を重ねておりますが、新年度には大まかな内容を発表できると思います。

音楽は私たちの生活を豊かにし、寄り添い支えてくれます。喜怒哀楽に添った音楽を提供することで、人々の人生を更に豊かにするきっかけを作っていきたいと思っております。新たな施策を通じて音楽の良さを感じてもらえるようなイベントに育ていき、ひいては産業の源である「ヒット曲」「時代を担うスター」の創出、そして音楽業界全体の活性化に繋がる場になっていければと思っております。

最後になりますが、本年も皆様にとって幸多い年となることを祈念申し上げますとともに、引き続き産業の振興と音楽文化の発展を目指し、取り組んでまいりますので、格段のご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

Monthly News Digest

11/5

ACA「ほんと?ホント!フェアin福井」開催

11月5日、福井県福井市のアピタ福井大和田店にて、当協会が加盟する不正商品対策協議会(ACA)が主催する「ほんと?ホント!フェア in 福井~守ろう情報セキュリティと知的財産~」が開催された。

本イベントは、知的財産の保護と不正商品の排除を広く消費者に訴えかけることを目的として、全国で定期的で開催されている。当協会は、「ホンモノ・ニセモノ比較展示」において音楽CD・DVDの真正品・模倣品の提供や、著作権教育啓発用リーフレットの配布を行った。同会場では、ほかにも「みんなで学ぼう〇×クイズ大会」や「ペーパークイズ&アンケート」が実施されたほか、福井すみます芸人「クレヨンいとう&飯めしあがれこにお」によるミニライブや、サイバー犯罪に対する備えを若者目線で啓発するために結成された福井大学4名によるユニット「Psybernic」によるトークショー等も行われた。

当日は家族連れなど約800人が来場し、盛況のうちに終了した。



11/14~16

重村会長、IFPI中央理事会他で北京出張

11月14日、中国・北京のペニンシュラホテルにてIFPI(国際レコード産業連盟)中央理事会が開催された。当協会重村会長はこれに出席するため北京を訪問し、あわせて他の公務も執り行った。重村会長には畑理事・事務局長が同行した。

中央理事会は、IFPI フランシス・ムーア会長を議長とし、メジャーレーベル代表、インディーレーベル代表、主要国のレコード産業団体代表らによって構成される会議であり、今回はIFPI事務局を含め27名が出席した。会議においては、好調なストリーミング音楽配信売上げけん引して今年上半期の全世界音楽セールスは前年以上の増加が見込まれるとの報告があった。また、IFPIがEUを中心に働きかけを進める「バリューギャップ」について、ユーザーアップロード型プロバイダの法的責任強化を含むEU著作権指令(EU Copyright Directive)見直しの進捗と今後の取り組み方針等が議論された。日本からは、重村会長が、大枠合意に至った通商協定(TPP11および日EU・EPA)に対するレコード産業の期待や政府審議会における検討課題等を説明した。



11月15日には、IFPI主催の「China Focus Day」カンファレンスが同ホテルで開催され、中央理事会メンバーを含む約40名の関係者が参加した。このカンファレンスは、中国の音楽市場に対する正しい理解を深め、今後の重点課題を見出すことを目的に開催されたもので、中国経済と音楽市場、中国における音楽ビジネス、集中管理の現状と今後、著作権に係る法制度の課題等について関係者のプレゼンと活発な議論が行われた。

また、11月14日の朝には、フランシス・ムーア会長を含むIFPI代表数名と重村会長が全国人民代表大会(全人大)教育科学文化衛生委員会の柳斌傑委員長を訪問し、検討が進む中国著作権改正に関するレコード産業からの要望を行った(写真参照)。IFPIからは放送・有線放送および公衆演奏から実演家・レコード製作者が報酬を得る権利の創設を中心に要望を行ったほか、重村会長からはレコード保護期間の70年への延長について検討を要望した。

重村会長は、11月16日に中国国家版權局を表敬訪問し、版權管理司の段副司長と面談。当協会北京代表処が行うCDの権利認証書の発行業務等、日本音楽の適法流通促進に対する長年にわたる支援に対し感謝の意を述べるとともに、当協会が行う権利侵害対策へのさらなる支援を要望した。段副司長からは、これまでの国家版權局の侵害対策の成果等が説明された。また、急速に拡大する中国のインターネット音楽配信市場の健全な育成に向けた両国の協力関係についても意見交換が行われた。

11/29

大阪大学・大学院へ講師派遣

11月29日、大阪府豊中市の大阪大学法学部の学部生および法学研究科院生を対象に開講されている「高度情報通信化社会における知的財産戦略論」(担当:甲野 正道 知的財産センター 特任教授)において、当協会 著作権・契約部 楠本部長が「デジタルネットワーク化に伴う著作権制度の役割について」と題した講義を行った。

大阪大学の知的財産センターには、総務省、文部科学省、特許庁、また、民間企業出身者等から特任教授が派遣・就任されており、そのネットワー

クを通してさまざまな分野から知的財産に携わる外部専門家を招へいし、各種講義を実施している。

今回の講義では、日本の音楽市場の概要、音楽著作権・著作隣接権の集中管理の概要、当協会の事業について事例を交えながら説明を行った。約30名の受講生や教授陣からは、「他国と比べて日本での音楽配信の成長が遅いのはなぜか?今後どうすれば良いと考えているか?」、「インターネットに関わる違法行為の種類や量の多さに驚くとともに、それに対応する法律が追い付いていないことに驚いた」等、多くの質問やコメントが寄せられ、活発な意見交換が行われた。

ACA 第6回「著作権を守ろう!ポスターコンクール」 受賞作品決定

11月20日、不正商品対策協議会(ACA)は、「著作権を守ろう!ポスターコンクール」受賞作品を発表した。本企画は、2017年7月から9月まで、著作権の保護を広くPRするために、警察庁、文部科学省の後援で開催されたもの。全国の小学校4年生から中学生を対象に公募したところ、32校より合計107作品の応募があり、ACAおよび警察庁、文部科学省の厳正なる審査の結果、入選5作品が決定した。



最優秀作品賞

- | | | | |
|----------|-------------------|----|---------|
| <最優秀作品賞> | 古川学園中学校(宮城県) | 3年 | 佐々木拓杜さん |
| <優秀作品賞> | 岡山市立石井中学校(岡山県) | 3年 | 素利美咲さん |
| <入選作品> | 牡鹿郡女川町立女川中学校(宮城県) | 3年 | 澤田遥希さん |
| | 始良市立帖佐中学校(鹿児島県) | 2年 | 山元愛里さん |
| | 大田原市立薄葉小学校(栃木県) | 4年 | 小高月楓さん |

Coming Next Artists 情報

音楽ナタリー内では、新たに以下の特集記事、コラムが公開中です。是非ご覧ください。

- #16 THE PINBALLS (日本コロムビア)
パーソナリティ / ピエール中野
- #17 山崎彩音
(フォーライフ ミュージックエンタテインメント)
パーソナリティ / ピエール中野

Coming Next Artists (音楽ナタリー内)
<https://natalie.mu/music/pp/comingnextartists>



新連載!

私の一枚 season2

今号より新連載「私の一枚 season2」がスタートします。

本連載は、2009年9月号～2012年6月号に掲載し、各方面から好評を得ていた「私の一枚」の後続企画で、当協会理事・代表者の方々に、ご自身の心に残る一枚を音楽にまつわるエピソードとともに語っていただくコーナーとなっております。8ページに掲載の第1回目は、当協会重村会長の寄稿となりますので、ぜひご覧ください。

なお、当協会ホームページでは、前シリーズが掲載されたバックナンバーも閲覧いただけます。

機関誌「The Record」

<http://www.riaj.or.jp/issue/record/>

特報

Special Report

「第24回日本プロ音楽録音賞授賞式」開催

12月6日、東京都目黒区のホテル雅叙園東京において、一般社団法人日本オーディオ協会、一般社団法人日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPN、および当協会の主催、経済産業省の後援による「第24回日本プロ音楽録音賞授賞式」が開催された。

本賞は、音創りを通じて音楽とオーディオ文化の向上に努める録音エンジニアの感性と技術を評価し、音楽制作および録音に対する一般ユーザーの認識を高めるとともに、音楽とオーディオ産業のソフト分野における一層の技術の向上ならびに録音エンジニアの地位の確立を図ることを目的としている。

第24回目を迎えた今年は応募総数118作品の中から審査委員会による厳正な審査の結果、各部門から計14作品の優秀作品、ベストパフォーマー賞1作品、およびニュー・プロミネントマスター賞2作品が選ばれた。当日は優秀作品の表彰と各部門の最優秀作品およびエンジニアの発表、表彰が行われた。



受賞作品一覧

CD部門「クラシック、ジャズ、フュージョン」

最優秀賞



「Timeless 20th Century Japanese Popular Songs Collection」(SICX-89)より「あまく危険な香り」

ケイコ・リー
発売元：(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント

- 鈴木 浩二 (ミキシング&マスタリング・エンジニア) (株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ
- 米山 雄大 (レコーディング・エンジニア) (株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ

優秀賞

「ゼルダの伝説 30周年記念コンサート」(COZX-1293-4)より「神々のトライフォース 2 & 3 銃士メドレー」

東京フィルハーモニー交響楽団 指揮：竹本泰蔵
発売元：日本コロムビア (株)

- 山下 由美子 (マスタリング・エンジニア) 日本コロムビア (株)
- 塩澤 利安 (ミキシング・エンジニア) 日本コロムビア (株)
- 川上 真一 (セカンド・エンジニア) 日本コロムビア (株)

CD部門「ポップス、歌謡曲」

最優秀賞



「PLAY」(VIZL-1149)より「sakura」

藤原 さくら
発売元：(株)JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント

- 内田 孝弘 (マスタリング・エンジニア) (株)JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
- 渡辺 佳志 (ミキシング・エンジニア) (株)JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント

優秀賞

「がらくた」(VIZL-1700)より「ほととぎす [杜鵑草]」

桑田 佳祐
発売元：(株)JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント

- 中山 佳敬 (ミキシング・エンジニア) (株)JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
- 袴田 剛史 (マスタリング・エンジニア) (株)JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
- 宮沢 峻介 (アシスタント・エンジニア) (株)JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント

「Mist-ic」(KICS-3467)より「BELIEVING」

塩ノ谷 早耶香
発売元：キングレコード (株)

- 矢内 康公 (マスタリング・エンジニア) (株)キング関西スタジオ
- 澁澤 俊介 (ミキシング・エンジニア) (株)サウンド・シティ

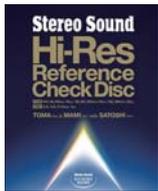
「CHEER UP! THE SUMMER」(WPCL-12426)

山下 達郎
発売元：(株)ワーナーミュージック・ジャパン

- 菊地 功 (マスタリング・エンジニア) (株)ミキサーズラボワーナーミュージック・マスタリング
- 中村 辰也 (ミキシング・エンジニア) (株)プラネット・キングダム

ハイレゾリューション部門「2ch ステレオ」

最優秀賞



「Stereo Sound Hi-Res Reference Check Disc」
(SSRR9-10) より「Greensleeves」

TOMA & MAMI with SATOSHI
発売元：(株)ステレオサウンド
BD-ROM フォーマット：384kHz/32bit

- 高田 英男 (ミキシング・エンジニア) (株) ミキサーズラボ
- 山口 雄 (テクニカル・エンジニア) (株) ミキサーズラボワーナーミュージック・マスタリング
- 加藤 拓也 (アシスタント・エンジニア) (株) ミキサーズラボワーナーミュージック・マスタリング

優秀賞

「PINK」より「PINK」

土岐 麻子
発売元：エイベックス・ミュージック・クリエイティブ (株)
配信元：mora フォーマット：96kHz/32bit

- 米田 聖 (ミキシング・エンジニア) studio MSR
- 小柳 令奈 (マスタリング・エンジニア) form THE MASTER

「SHAKE」より「Purple Rain featuring SUGIZO」

TOKU
発売元：(株)ソニー・ミュージックレーベルズ
配信元：mora フォーマット：96kHz/24bit

- カジャンチ ニラジ (レコーディング&ミキシング・エンジニア) NK SOUND TOKYO
- 木村 健太郎 (マスタリング・エンジニア) KIMKEN STUDIO

ハイレゾリューション部門「マルチ ch サラウンド」

最優秀賞



「[Contigo en La Distancia] ～遠く離れていても～」より
「Contigo en La Distancia 遠く離れていても」

喜多直毅 x 田中信正
発売元：(株)エムアイセブンジャパン
配信元：e-onkyo music
フォーマット：192kHz/24bit 5.0ch

- 沢口 真生 (ミキシング&マスタリング・エンジニア) (有) 沢口音楽工房
- 粟飯原 友美 (アシスタント・エンジニア) Winns Mastering

ニュー・プロミネントマスター賞



「TROPICAL GREEN」(HICC-4234) より
「TROPICAL GREEN」

安次嶺 希和子
発売元：(株)ハイウェーブ

- 石 光孝 (ミキシング・エンジニア) (株) ミキサーズラボ



「トコワカノクニ」(VTZL-113) より「レゼトワール」

悠木 碧
発売元：(株)フライングドッグ
DVD-Video 5.1ch

- 高須 寛光 (ミキシング・エンジニア)
(株) JVC ケンウッド・ピクチャーエンタテインメント

放送部門「2ch ステレオ」

最優秀賞



「SONGS/ 中島みゆきトリビュート」より
「世情」

クミコ、坂本 昌之
日本放送協会 HDTV stereo
2017年6月22日放送

- 野口 康史 (ミキシング・エンジニア) 日本放送協会
- 垣内 章宏 (セカンド・エンジニア) 日本放送協会
- 高橋 義洋 (セカンド・エンジニア) (株) ネオテック

優秀賞

「EARTHDAY LIVE 2017」より「アランフェス協奏曲～Spain」

平原 綾香
(株)エフエム東京 FM stereo 2017年5月4日放送

- 川島 修 (ミキシング・エンジニア) (株) エフエム東京
- 梁取 慎一 (セカンド・エンジニア) (株) タムコ

放送部門「マルチ ch サラウンド」

最優秀賞



「プレミアムシアター/二期会公演」より
歌劇「トスカ」より「テ・デウム」

今井 俊輔 (スカルピア) / 二期会合唱団 /
NHK児童合唱団 / 東京都交響楽団
指揮：ダニエル・ルスティオーニ
日本放送協会 HDTV 5.0ch
2017年3月13日放送

写真提供：(公益財団法人) 東京二期会

- 矢島 諭 (ミキシング・エンジニア) (株) ネオテック
- 庄司 啓太 (セカンド・エンジニア) (株) テレビアルファ

優秀賞

「オーケストラ・アンサンブル金沢 ニューイヤーコンサート2017」
「鬼才エンリコ・オノフリ+華麗なるソプラノ 森 麻季」より
「モテット「踊れ、喜べ、幸いなる魂よ」」

指揮：エンリコ・オノフリ ソプラノ：森 麻季
演奏：オーケストラ・アンサンブル金沢
北陸朝日放送 (株) HDTV 5.1ch 2017年1月21日放送

- 山崎 克哉 (ミキシング・エンジニア) (株) 放送技術社 北陸事業所
- 山下 耕司 (セカンド・エンジニア) 北陸朝日放送 (株)
- 山中 康男 (セカンド・エンジニア) 朝日放送 (株)

ベストパフォーマー賞



「DISCOVER JAPAN III～ the voice with
manners～」(ESCL-4887～8) より
「胸の振り子」

鈴木雅之
アレンジャー：服部 隆之
発売元：(株)ソニー・ミュージックレーベルズ



重村 博文

一般社団法人日本レコード協会 会長
(キングレコード株式会社 代表取締役会長)

柄にもなくクラシックからの紹介である。

手元に一冊の本がある。表紙をめくると著名なヴァイオリニスト天満敦子のサインと為書。日付は2008.12.2とある。本のタイトルは『わが心の歌 望郷のバラード』（天満敦子著 文藝春秋刊）だ。

彼女が来社の折にプレゼントしてくれたものである。最初に「望郷のバラード」という楽曲を紀尾井ホールで聴いた時は、なんと「もの悲しくて切ない曲」だろうというのが第一印象だった。

この曲の経緯については『わが心の歌』と中野雄氏のライナーノーツを読んでいただければよくわかるが、簡単に引用しつつ説明したい。

作曲家はルーマニアの天才作曲家チプリアン・ポルムベスク。彼はオーストリア・ハンガリー帝国の圧政に抗し投獄される憂き目に遭った。この曲は彼が獄中で故郷をしのびつつ書いたもので、彼は残念ながら1883年(明治16年)に29歳の若さで亡くなってしまふ。そして長い間この曲はルーマニアの秘曲として伝わっていた。その後たまたま1977年ウィーンの本大使館の岡田真樹氏が当時のチャウシェスク政権に疎まれて放浪を続けていたあるルーマニアのヴァイオリニストがこの曲を弾くのを直接耳にした。8年後に2人は再会し、「もしこの曲の心を理解してくださるヴァイオリニストがいたら君の国に紹介してくれないか」と岡田氏は譜面を託された。タイトルは「バラダ」（詩曲）であったという。

1992年、東欧出張中の岡田はルーマニアのブカレストで演奏に来ていた天満敦子と偶然に出会う。そしてこの曲の日本での紹介を依頼した。天満は帰国後、スタジオで他の楽曲の収録中の合間に彼女が何気なく弾いたこの「バラダ」がプロデューサーの中野雄氏の耳にとまり、直ちにCD制作が決まったという。

この瞬間「バラダ」は作曲家没後130年以上経て日本のヴァイオリニストを通じて「望郷のバラード」として甦ったのである。そしてこのことは新聞で話題となった。こうした背景のあることを知ってか、多くの日本人の心をとらえ、今なお会場のあちこちで目頭をハンカチで拭う人を見かける。

天満は時にステージ上で「私の結婚相手はこのストラディヴァリウス」と言うことがある。しかし彼女の結婚相手はもう一人いるのではないかと私は思っている。それは「望郷のバラード」という楽曲だ。

昨年の秋の紀尾井ホールは以前にも増して素晴らしい演奏であった。プログラムの中の一曲「月の沙漠」を聴きながら、これは「望郷のバラード」とつながっていると思った。ひょっとしたら心の奥深いところで日本人とルーマニア人は共通の心を持っているのではないかとさえ感じさせる演奏であった。この「望郷のバラード」が日本とルーマニアをつなぐ永遠の懸け橋にならんことを願うのみである。

ちなみにこの曲は10万枚を超え、今なお多くのユーザーに支持され続けている。



Balada [望郷のバラード]
天満敦子

Monthly Production Report

2017年11月度レコード生産実績

11 月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）の生産実績は、数量で前年同月比 115%の 2,138 万枚・巻、金額で同 115%の 234 億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比 118%の 1,745 万枚・巻、金額で同 127%の 199 億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比 106%の 394 万枚・巻、金額で同 74%の 35 億円となっている。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

		11 月実績						2017 年 1 月～2017 年 11 月累計					
		数量	構成比	前年 同月比	金額	構成比	前年 同月比	数量	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前年 同期比
8cmCD シングル	邦	1	0	12%	1	0	10%	31	0	43%	21	0	42%
	洋	0	0	-	0	0	-	3	0	200%	1	0	211%
	計	1	0	12%	1	0	10%	34	0	46%	22	0	44%
12cmCD シングル	邦	5,522	32	108%	4,386	22	108%	45,956	33	92%	37,032	23	94%
	洋	22	0	604%	6	0	184%	284	0	221%	244	0	454%
	計	5,544	32	108%	4,392	22	108%	46,240	33	92%	37,276	24	95%
シングル 計	邦	5,523	32	108%	4,386	22	108%	45,987	33	91%	37,053	23	94%
	洋	22	0	604%	6	0	184%	287	0	221%	245	0	452%
	計	5,545	32	108%	4,393	22	108%	46,274	33	92%	37,298	24	95%
12cmCD アルバム	邦	9,797	56	132%	12,942	65	138%	77,364	55	104%	101,640	64	101%
	洋	1,860	11	89%	2,075	10	104%	15,770	11	83%	15,947	10	90%
	計	11,657	67	123%	15,017	76	132%	93,134	66	100%	117,587	75	99%
CD 計	邦	15,320	88	122%	17,328	87	129%	123,351	87	99%	138,693	88	99%
	洋	1,882	11	90%	2,081	10	104%	16,056	11	84%	16,192	10	91%
	計	17,202	99	118%	19,410	98	126%	139,408	99	97%	154,885	98	98%
アナログ ディスク	邦	30	0	152%	108	1	319%	468	0	134%	871	1	132%
	洋	106	1	252%	194	1	275%	464	0	130%	809	1	135%
	計	136	1	221%	303	2	289%	932	1	132%	1,679	1	134%
カセット テープ	邦	52	0	186%	36	0	153%	518	0	79%	436	0	76%
	洋	1	0	246%	2	0	258%	6	0	233%	6	0	188%
	計	53	0	187%	37	0	156%	524	0	80%	442	0	77%
その他	邦	15	0	19%	13	0	18%	124	0	63%	184	0	66%
	洋	39	0	195%	89	0	221%	255	0	122%	511	0	121%
	計	54	0	56%	102	1	91%	379	0	94%	695	0	99%
合 計	邦	15,416	88	122%	17,486	88	129%	124,461	88	99%	140,183	89	99%
	洋	2,029	12	95%	2,366	12	112%	16,782	12	85%	17,518	11	93%
	計	17,445	100	118%	19,852	100	127%	141,243	100	97%	157,702	100	98%

● 音楽ビデオ

		11 月実績						2017 年 1 月～2017 年 11 月累計					
		数量	構成比	前年 同月比	金額	構成比	前年 同月比	数量	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前年 同期比
DVD	邦	3,237	82	100%	2,132	60	66%	34,570	81	93%	30,880	61	85%
	洋	94	2	170%	84	2	84%	653	2	98%	969	2	104%
	計	3,331	85	101%	2,216	63	67%	35,224	83	94%	31,849	63	85%
ブルーレイ ディスク	邦	599	15	153%	1,290	36	98%	7,098	17	91%	17,812	35	94%
	洋	8	0	36%	34	1	33%	192	0	100%	615	1	94%
	計	608	15	147%	1,324	37	93%	7,290	17	92%	18,427	37	94%
テープ・その他	邦	0	0	70%	0	0	74%	1	0	88%	2	0	84%
	洋	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
	計	0	0	70%	0	0	74%	1	0	88%	2	0	84%
合 計	邦	3,837	97	106%	3,422	97	75%	41,669	98	93%	48,694	97	88%
	洋	102	3	130%	118	3	58%	846	2	99%	1,584	3	100%
	計	3,939	100	106%	3,540	100	74%	42,515	100	93%	50,278	100	88%

● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

		11 月実績						2017 年 1 月～2017 年 11 月累計					
		数量	構成比	前年 同月比	金額	構成比	前年 同月比	数量	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前年 同期比
オーディオレコード計		17,445	82	118%	19,852	85	127%	141,243	77	97%	157,702	76	98%
音楽ビデオ計		3,939	18	106%	3,540	15	74%	42,515	23	93%	50,278	24	88%
合 計	邦	19,253	90	118%	20,907	89	115%	166,130	90	97%	188,877	91	96%
	洋	2,131	10	96%	2,484	11	108%	17,627	10	86%	19,102	9	94%
	計	21,384	100	115%	23,391	100	115%	183,757	100	96%	207,979	100	96%

● ビデオレコード（含音楽ビデオ）

		11 月実績						2017 年 1 月～2017 年 11 月累計					
		数量	構成比	前年 同月比	金額	構成比	前年 同月比	数量	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前年 同期比
DVD		7,491	66	103%	7,168	49	94%	70,207	76	91%	73,051	54	87%
ブルーレイディスク		3,806	34	215%	7,417	51	133%	22,568	24	100%	62,807	46	103%
テープ・その他		0	0	70%	0	0	74%	1	0	79%	2	0	68%
合 計		11,296	100	125%	14,585	100	111%	92,777	100	93%	135,860	100	94%

● オーディオ/ビデオレコード合計

		11 月実績						2017 年 1 月～2017 年 11 月累計					
		数量	構成比	前年 同月比	金額	構成比	前年 同月比	数量	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前年 同期比
オーディオレコード計		17,445	61	118%	19,852	58	127%	141,243	60	97%	157,702	54	98%
ビデオレコード計		11,296	39	125%	14,585	42	111%	92,777	40	93%	135,860	46	94%
合 計		28,741	100	120%	34,437	100	119%	234,019	100	95%	293,562	100	96%

備考 1. 本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
 2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
 3. オーディオレコードのその他は SACD、DVD オーディオ、DVD ミュージック、MD の合計。
 4. 音楽ビデオ、およびビデオレコードのその他は LD、HD DVD の合計。

音楽ソフト

シングル

邦楽

ミリオン	裸足でSummer	乃木坂46	2016.07.27	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックレコーズ)
ダブル・プラチナ	Doors ～勇気の軌跡～	嵐	2017.11.08	ジェイ・ストーム
プラチナ	応答セヨ	関ジャニ∞	2017.11.15	ジェイ・ストーム (インフィニティ・レコーズ)
ゴールド	赤い果実	Kis-My-Ft2	2017.11.29	エイベックス・エンタテインメント
	THE IDOLM@STER SideM ANIMATION PROJECT 01 Reason!!	315 STARS	2017.11.15	ランティス
	僕ら今日も生きている / 考えるな、燃えろ!!	ジャニーズ WEST	2017.11.22	ジャニーズ・エンタテインメント

アルバム

邦楽

ミリオン	Finally	安室 奈美恵	2017.11.08	エイベックス・エンタテインメント
プラチナ	DINOSAUR	B'z	2017.11.29	ビーイング
	BOOTLEG	米津 玄師	2017.11.01	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックレコーズ)
ゴールド	MANKAI ☆開花宣言	A3ders! [佐久間咲也、皇天馬、摂津万里、月岡紬 (CV: 酒井広大、江口拓也、沢城千春、田丸篤志)]	2017.02.15	ポニーキャニオン
	ALL TIME BEST ～ Martini Dictionary ～	鈴木 雅之	2015.03.04	ソニー・ミュージックレーベルズ (EPIC レコードジャパン)
	LOVE it	西野 カナ	2017.11.15	ソニー・ミュージックレーベルズ (SME レコーズ)
	明日色ワールドエンド	まふまふ	2017.10.18	NBCユニバーサル・エンターテインメントジャパン

※日付は発売日

有料音楽配信

シングルトラック

邦楽

ダブル・プラチナ	高嶺の花子さん	back number	2013.06.26	ユニバーサル ミュージック
プラチナ	空色デイズ	中川 翔子	2007.06.27	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックレコーズ)
ゴールド	White Light	安室 奈美恵	2005.11.16	エイベックス・エンタテインメント
	花の唄	Aimer	2017.10.11	ソニー・ミュージックレーベルズ (SME レコーズ)
	アイム・ア・ビリーバー	SPYAIR	2015.10.21	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ)
	メロディー	玉置 浩二	2004.02.26	ソニー・ミュージックダイレクト
	他人の関係	一青 窈	2016.07.14	ユニバーサル ミュージック
	Week End	星野 源	2015.12.09	JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメント
	オルフェ	宮野 真守	2011.12.15	キングレコード
	ヴィーナスとジーザス	やくしまるえつこ	2011.06.20	キングレコード
	タッタ	ゆず	2017.03.11	セーニャ・アンド・カンパニー
	灰色と青 (+菅田将暉)	米津 玄師	2017.10.11	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックレコーズ)

洋楽

プラチナ	ウェイク・ミー・アップ	Avicii	2013.07.31	ユニバーサル ミュージック
ゴールド	Part of Your World	Q;indivi	2007.04.18	エイベックス・エンタテインメント
	ハッピー、クリスマス (戦争は終わった)	ジョン・レノン	2005.09.30	ユニバーサル ミュージック
	24K・マジック	ブルーノ・マーズ	2016.10.07	ワーナーミュージック・ジャパン

※日付は配信開始日

認定基準一覧 音楽ソフト (アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信 (着うた®、シングルトラック・アルバム) 共通

名称	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ミリオン	2ミリオン
基準	10万以上	25万以上	50万以上	75万以上	100万以上	200万以上

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL (ダウンロード数)
 ※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰
 ※※「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です
 ※※※3ミリオン以降、100万毎に認定

協会からのお知らせ



廃盤CD
ディスカウントセール
最大70%OFF

当協会会員社は、今年度もインターネット販売による「2018新春レコードファン感謝祭～廃盤CDディスカウントセール」を開催いたします。

- 開催日程： 2018年1月11日（木）15時～1月22日（月）15時
- URL： <https://www.sonymusicshop.jp/haibansale2018/>
- 主催： 一般社団法人日本レコード協会 会員社
- 協賛： 一般社団法人日本レコード協会
- 運営： 株式会社ソニー・ミュージックマーケティング Sony Music Shop
- 出品予定： CD、DVD、カセット他
- 出品数： 約1,800タイトル、約30,000枚予定
- 販売価格： 廃盤は定価の70%OFF。その他、輸入盤、時限再販期間経過商品等を割引特価で販売



エルマーキャラクター
エルマーくん

THE RECORD No.698 2018年1月号
一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 重村 博文
編集人 原 康晴
発行日 2018年1月12日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9F
TEL. 03-5575-1301 (代) FAX. 03-5575-1313
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
私事で恐縮ですが、手元にある手帳を見て自分の音楽動向を振り返ると、昨年は41回ライブに行っていました（プライベートのみ・音楽フェスを含みます）。そのうち、2017年に初めてワンマンのチケットをとったアーティストは5組でした。同時にパッケージ・音楽配信の年間購入額も増加（現実を知るのが怖いので、こちらはあえてカウントしません…）。消費支出に占める割合も大きくなる一方ですが、今年もたくさんの素敵な音楽に出会いたいと思っています。
本年もよろしく願い申し上げます。（M）

- 当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら、当協会公式サイト（URL: <http://www.riaj.or.jp/>）のお問い合わせページよりお寄せください。